

毎日新聞本社読者室長殿  
福島支局長殿

2012年10月12日の朝刊社会面記事「福島県平田村:内部被ばく 男性1人が国の基準を超える」についての質問書

食のコミュニケーション円卓会議  
代表 市川まりこ 2012/10/15

記事\*の中に、『生涯で受ける累積量の推計値「預託実効線量」が健康に影響を与えるとされる 国基準（1ミリシーベルト）』という記述があります。読者は、この64歳男性の健康に影響が出てしまうかのような印象を受け、不安になります。そこで、下記の2点の質問に回答を10月31日までをお願いします。

- 1) ここで言う「国基準（1ミリシーベルト）」とは何を指すか？
- 2) 「健康に影響を与えるとされる」とは、誰がどのような根拠に基づいて、そう主張しているのか？

#### <意見>

消費者は、情報の多くをテレビや新聞等のマスメディアから得ていますので、記事を書いたり、情報を社会に送り出す立場にある人の社会的責任は重いと考えます。科学的根拠に基づいた良質の情報を、分かりやすく伝える役割をしっかりと果たしてほしいと思います。

この質問書は、御社にお送りするとともに、情報を共有するために、食のコミュニケーション円卓会議HPに掲載致します事をご了承ください。なお、回答の有無につきましても掲載していきます。

参考：<\*記事>

福島県平田村:内部被ばく 男性1人が国の基準を超える 毎日新聞

福島県平田村の「ひらた中央病院」は11日、東京電力福島第1原発事故に伴い検査を希望した県内外8200人の内部被ばく検査結果を公表した。99%以上が検出限界未満だった。64歳男性1人が、生涯で受ける累積量の推計値「預託実効線量」が健康に影響を与えるとされる国基準（1ミリシーベルト）を超えた。同病院がこれまで検査したのべ約2万2300人で1ミリシーベルトを超えたのは初めて。

男性の内部被ばくは1.055ミリシーベルト。自宅が避難指示解除準備区域にあり、イノシシの肉や川魚を食べていたという。同病院は、自生や家庭栽培の野菜▽セシウムを吸収しやすいキノコ類▽放射能未測定一の食材を常食しないよう注意を呼びかけている。【神保圭作】